

ほうほうほうと寒い山、
ああもう暮れる、風が鳴る。

ほうほうほうと寒い山、
あれはからまつ、枯れた山。

(昭2・4)

海の向う

さんごじゆの花が咲いたら、
咲いたらといつか思った
さんごじゆの花が咲いたよ。

あの島へ漕いで行けたら、
行けたらといつか思った
その島にきょうは来てるよ。

あの白帆どこへゆくだろ
あの小鳥どこへゆくだろ、
あの空はどこになるだろ。

行きたいな、あんな遠くへ、
あの海の空の向うへ、
こんどこそ遠く行くこうよ。

(昭2・9)

牡丹

ぼうたんよ、
ぼうたん。

霧がふかい。霧から
誰か呼ぶよ、ほほほうい。